

横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 30 年度 第 3 回運営委員会について報告します。

日 時	平成 30 年 7 月 18 日(月) 18 : 30 ~ 20 : 20
会 場	横浜市健康福祉総合センター 9 階 小会議室 904
参加者	神奈川県生活協同組合連合会 : 丸山 ボーイスカウト横浜市連合会 : 中上 鶴見区災害ボランティアネットワーク : 河西 (代表) 港南区災害ボランティアネットワーク : 井出 金沢区災害ボランティアネットワーク : 深浦 とつか災害救援活動ネットワーク : 宮川 泉区災害ボランティア連絡会 : 乾 (副代表) NPO 法人かながわ 311 ネットワーク : 伊藤、谷本 横浜市子ども会連絡協議会 : 福永 青葉区災害ボランティア連絡会 : 小池 オブザーバー : 横浜市市民局市民活動支援課 西島係長・清見 事務局 : 横浜市ボランティアセンター 若林・田村・別田

■ 運営委員長あいさつ

■ 委員自己紹介 (オブザーバー・事務局含め自己紹介)

総会后初めての運営委員会のため、自己紹介を行った。

委員で名前があがっている人が出席できない場合でも、他の人が代理出席することが可能、という確認を行った。

■ 運営委員長の選任について 資料 1

資料に基づいて事務局より説明。

総会で運営委員の選出を行ったが、運営委員長は会則により、委員の互選により選出となっている。そのため委員長の選出を行った。

(質問) 運営委員会の開催要件はあるか？

→特になし。

委員の互選により鶴見区災害ボランティアネットワーク 河西氏が運営委員長となった。

■ 報告事項

1 豪雨災害について

西日本豪雨災害について、各団体の活動の共有の場とした。

・ 港北区災害ボランティア連絡会で募金活動を予定と、タオル等支援物資を集めているよう。

・ NPO 法人かながわ 311 ネットワークの対応

これからボランティアバスを運行予定。詳細はこれからだが、夏～9月上旬までで予定してい

る。被災が広域であるため、活動先をまだ検討中。広報等にご協力いただきたい。

・横浜市の対応

8月13日まで、市役所・行政サービスコーナー、区役所等に募金箱を設置。日赤を通じて募金する。横浜市災害応援対策本部が立ち上がり、岡山市へ罹災証明の発行、被災状況の確認などで派遣調整がされている。この対策本部は市防災計画の風水害対策編（現在は震災対策編）で計画されているもの。職員の派遣先は総務省からの割り振りで、岡山市となっている。危機管理担当や専門職はすでに派遣されているかもしれないが、市全体としての派遣調整がこれからされる予定。

・横浜市社協の対応

全社協はすでに現地入りしている。社協は日本全国でブロック割がされており、横浜市は関東ブロック。近隣のブロックから順に派遣されているようで、関東ブロックはまだ動きはない。派遣される場合にも、行先の割当がこれから決まると思う。

2 県災ボラより

河西代表から報告。

7月20日から岡山県総社市にボランティアバスを運行予定。19日午前中まで参加者を募集しており、参加費は実費の半額の負担をお願いしている。総社市は受援力がしっかりしており、支援の受け入れもスムーズにされている。社協と行政の連携がよくすすめられている。

2便を翌週28～30日に倉敷市へ実施予定。気温も高く暑いので、20分活動したら休憩をとるようにすすめている。活動はたくさんあるが、熱中症の恐れから、活動を短時間にしているよう。そのため、ボランティア受付を午前だけでなく、午後も対応している。現地は砂埃が酷く、感染症の恐れもあり。砂埃には消毒用の石灰も混ざっており、結膜炎等にもなりうる。そのため、マスクの他、ゴーグルも必要。暑いため、帽子は必須。また、瓦礫撤去では手袋を複数枚重ねることが良い。

物資は現地に何が必要か確認してから送ってほしい。

災害時はマニュアルどおりではなく、臨機応変な対応が必要。

(質問) 現地災ボラセンターの受け入れ態勢は？災ボラネットワークもコーディネートに関わっているか。

(回答) 地元の人だけでなく、外部の方も運営側に関わっている。地元の人がいないと土地勘がないため対応が難しい。

(質問) 災ボラセンターのスタッフの募集はしているか。

(回答) 募集、というより、支援団体の仲間うちでほしい集まってくる。

3 ブロック別連絡会の報告

(Aブロック)

次回日程未定

(B ブロック)

6月19日に金沢区が幹事区で開催。区災ボラセンターと市災ボラ支援センターとの連携訓練を実施。災ボラセンターの日報を書く作業と、その内容をトランシーバーで市災ボラ支援センター報告することを行った。市災ボラ支援センターで各区の情報をまとめ、コーディネーターの応援区と派遣先を調整。今回の訓練では金沢区から他区へ応援を想定して行ったが、派遣先までのルートをパソコン上で地図を確認した。

(C ブロック)

6月18日に旭区が幹事区で開催。各区の現状報告を行った。旭区は地域防災拠点と関わって取り組みを行っている。瀬谷区も災ボラセンターのシミュレーションに中学生が関わっている。今後、ブロック単位でDIGをしてはどうか、という提案があがったが、旭区から、そこまで厳しいとのことだった。他区でも情報伝達訓練を実施し、拠点との繋がりができつつあるところもあるよう。

(D ブロック)

7月25日に緑区が幹事区で開催予定。昨年度ブロック別連絡会の助成金の活用ができなかったため、何に活用するか検討することから始めたい。

4 各委員より

(横浜市子ども会連絡協議会)

特になし

(金沢区災害ボランティアネットワーク)

市協働事業で、小中学生の災害の知識向上、防災教育として助成金をいただき、プロジェクトチームをつくり活動をしている。「てんでんこ金沢」という名前でFacebookも立ち上げた。7月14日に防災遠足を実施。防災センターに行った後、帰りは帰宅困難者訓練をした。15日はマンションに住んでいる親子向けの防災講座を実施。8月にも防災講演会も実施予定。

(港南区災害ボランティアネットワーク)

各地域防災拠点へのマップづくりをしている。また、今災ボラセンターのマニュアルの見直しをしており、外部からのボランティアを全て受け入れるのかなど、意見があがっている。ボランティア登録をするとき、身分証明書の提示を求めているか、どういう対応をしているか聞きたい。→マニュアルのなかでは身分証明書の提示まで求めることはほとんどない。専門職については横浜市が専門ボランティアとして受付を別にしていくことになった。災害時は外部からの支援も必要であり、受け入れができるように準備が必要。柔軟な対応が求められる。

(とつか災害救援活動ネットワーク)

障害者団体から、どうやって防災を教えたら良いか、自助について教えてほしい、という講演依頼があったので話をしにいった。ところが、支援者のリーダー格の人たちばかりだったので、別の話で逸れていった。

横浜市民防災センターで開催されたイザ！カエルキャラバン研修会に参加、戸塚区内でお札まきという祭りがあり、ごみ拾いと会場設営として参加した。

子供防災体験塾を昨年から実施しており、今年は7月29日に実施予定。防災ライセンスが区役所から助成金をもらい、協力している。

新会員もいるので、今後災ボラセンターについての研修や、帰宅困難者支援拠点の研修会などしていきたい。

(ボーイスカウト横浜市連合会)

横浜市連合会は市域で活動するものを取り組んでいる。災害としての特別な活動をするのではなく、キャンプなど日頃の活動をとおして、災害時にも対応できるようロープワークなどの学びを積み重ねている。募金活動も各々のボーイスカウトで実施もしている。

(泉区災害ボランティア連絡会)

区災害対策本部を中心とした情報伝達訓練を昨年度に引き続き実施。8月には二ズの聞き取りもできるように研修を実施予定。また、小学校のサマースクールのなかで、防災をテーマとした講師対応をする。

11月の泉区祭りで災ボラとして出店予定なので、準備をはじめていく。

(青葉区災害ボランティア連絡会)

6月13日に開催された青葉区地域防災拠点運営委員会連絡協議会で、災ボラの紹介をした。2年程前に拠点向けにアンケートを行ったが、区内に41か所拠点があるうち、20か所弱から、拠点訓練の時に災ボラに来てほしい、という意見があった。それを受けて、昨年から拠点訓練にも参加している。訓練では、災ボラセンターの説明や災害時のボランティアの動きなどをお伝えしている。災ボラセンターを知らない場合も多いので、1か所ずつ説明を継続して行っていく。予算が限られているが、各区災ボラがどのような発行物を出しているのか知りたい。周知していき、地域に知ってもらわないと災害時も動けないと考えている。

(神奈川県生活協同組合連合会)

豪雨災害について、九州関西等の生協で現地の支援対応をしている。募金活動も実施。

東日本大震災としての支援については、引き続き福島県のこどもたちの雇用や、8月に海老名で交流キャンプを実施する。

県生協では大規模災害対策委員会があり、阪神淡路大震災から、援助協定を県、政令市と結んでいる。本日19日も委員会があり、議論を重ねている。

(NPO 法人かながわ 311 ネットワーク)

市協働事業の助成金をもらっており、マンションの防災支援事業に取り組んでいる。2回終了したが、各回 20 名ほどの参加だった。

学校での防災教育として、ファシリテーター養成講座を小田原で実施予定。秋には上級編をする。学校向け、教員向けのアシストができるように養成し、いずれは講師として活動していただく。

旭区星槎中学校で防災の取組を 3 日間連続で実施されるが、事前準備等で関わっている。タウンニュースにも掲載される予定。

(鶴見区災害ボランティアネットワーク)

商科大学で鶴見区の課題を提案があり、プレゼンテーションの審査委員として参加した。防災をテーマにしたグループも 2 つあった。

今年は地域防災拠点でのクロスロードを重点的にすすめていきたい。また、拠点の人からニーズを発信する、ということも行う。拠点と連携が出来ていないと、災害時もニーズもあがってこない。

5 事務局より (IP 無線について)

昨年度末、IP 無線を市社協・区社協で導入した。携帯電話の音声をパケット化して送るので、災害時の制限もかかりにくいことから、この IP 無線を導入。全部で 20 台、年間 1 台 5 万円のリース。発災時の通信手段として準備した。すでに何回か通信訓練をしているが、常時使えるように訓練も行っていく。

■ 議題

1 新規加入者 (個人) について

1 件個人会員から加入申込書の提出があった。会則では特に決まっていないが、入会については運営委員会で諮った方が良い、という意見が以前出たので、報告した。

(質問) こういう場合には退会、という退会規定文言はないのか。

(回答) 特になし

(意見) 会則で会員の取り扱いについて整備した方が良いのではないかと。会員になると議決権が発生するので、諮った方が良いと思う。

(意見) 今後運営委員会での検討事案とした方が良いのではないかと。

2 平成 30 年度 総会及び会員向け研修会について (振り返り)

資料 2

資料に基づいて事務局より報告

(意見) 議事録に「繰越金が 70 万円を超えているが、」という言葉については、自分が当日質問

した内容の部分かと思う。そのような意味ではなく、当年度繰越金が全体金額の6割、次年度の繰越金を全体金額の7割で見込んでいるのは、組み立てとして、こういうものか？という意味で質問した。繰越金が多額だと、不要なお金と見られてしまう。予備費として設けられていて繰り越されるのは良いと思うが、「念のため」としての多額の繰越金では周りから指摘されてしまうと思う。

(回答) 繰越金が多額になっていることは数年前から意見があがっている。繰越金を特別会計に繰り出すことについても、運営委員会で議論された結果、繰り出さないこととなった。繰越金の取り扱いについては、運営委員会だけでは決めきれない。そのため、総会議案として出せるよう、運営委員会で早めに議論をしていく。

(意見) 総会のなかで、「今後運営委員会で議論していく」ということで持ち越した部分は、早めに議題としてあげてほしい。

(意見) 年間スケジュールがほしい。

(事務局) 今回も報告事項を議題より先にしたりと、予定された議題が話し合えるよう工夫をしている。しかし大切な議題も多く、予定どおりに進行が進まないと次回に持ち越しの事項も増えていく。次回の議題も事前にメール送付しつつ、スケジュール立てをし、優先順位を考えながらご提示していくので、ご協力いただきたい。

・総会の議事録をメールで送付し、意見をいただくこととした。

3 市域の連絡会開催について 資料3

資料に基づいて事務局より説明。

今年度は特に運営委員主体、という進め方をしていく方向で事業計画にもなっているほか、運営委員会だけでは検討の時間も足りないため、担当運営委員を設け、検討していけられたらと思っている。対象団体、担当運営委員について意見をいただきたい。

(質問) 市域団体とはどういう団体か。

(回答) 区域対象の活動団体以外を指す。

(意見) 市域団体が全員出席していないので、今日調整は出来ないのでは。日程の候補を事務局から出してもらえたらと思う。

(意見) 担当運営委員は運営委員のなかの市域団体に関わってもらわないといけないと思う。

(意見) 個人的に、本件について関心がある。市域団体として何をすれば良いか感じていた。解決するために、参画していけたらと思うが、会に確認が必要。10月末に大きいイベントがあるのでその後の11月開催だと良い。

(意見) 現在の市災ボラ支援センターは横浜市社協が市災ボラネットワーク会議と協力しながら設置・運営を行うこととなっている。市域団体も地域への応援もあるかと思うが、市災ボラネットワーク会議において目にみえる役割がないと協力しにくいので、目に見える役割があつたら良い。

- ・運営委員の市域団体を中心に日程を設定し、その他の会員に日程を伝えていく。
- ・11月で調整をしていく。

4 NEWS LETTER 掲載記事について 資料4

掲載記事内容について確認した。

(意見) 昨年の1回目の発行は10月発行だが、9月発行を目指してほしい。

5 平成30年度図上シミュレーション及び市災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練の日程について

参加の運営委員でいったん日程調整を行い、2月10日(日)午後の開催とした。

<次回運営委員会>

9月4日(火) 18:30～ 横浜市健康福祉総合センター 9階 小会議室 904